

-(으)ㄴ/는 데 있다

～する点にある

本質や要点がどこにあるかを示す書き言葉です。日本語の「点にある」に当たります。

■ つけ方

品詞	形	例
動詞	-는 데 있다	있다 → 있는 데 있다
形容詞	-(으)ㄴ 데 있다	다르다 → 다른 데 있다
主語	目的・ 의의・ 문제	抽象名詞
よく使う形	목적은 -는 데 있다	目的は～にある
分かち書き	데 は依存名詞	하는 데 있다
近い形	-(으)ㄴ/는 점이다	より一般的

■ 使い方と注意

要点の所在を示します。이 제도의 목적은 격차를 줄이는 데 있습니다 (この制度の目的は格差を減らす点にあります)。

抽象名詞を主語に取ります。목적 (目的)、의의 (意義)、문제 (問題)、차이 (違い) など。「～の要点は～することにある」という構文です。

論文・報告書の定番です。何かを定義したり、本質を説明する場面で使われます。

데 は「ところ」を意味する依存名詞で、分かち書きします。-(으)ㄴ/는 데 (接続語尾) とは別物なので注意します。

■ 例文

- 1 문제 는 준비가 부족한 데 있습니다.
問題は準備が足りないところにあります。
- 2 이 제도 의 목적 은 취약 계층 을 돕는 데 있다.
この制度の目的は、弱い立場の人々を助けるところにあります。
- 3 이번 연구 의 의의 는 새로운 방법 을 제시한 데 있다.
今回の研究の意義は、新しい方法を示したところにあります。
- 4 핵심 은 속도 가 아니라 정확성 을 지키는 데 있어요.
核心は速さではなく、正確さを守るところにあります。
- 5 이 가게 의 강점 은 직접 만드는 데 있습니다.
この店の強みは、手作りするところにあります。
- 6 원인 은 제도 자체가 아니라 운영하는 데 있었다.
原因は制度そのものではなく、運営するところにありました。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ/는 점이다
「点だ」で一般的です。데 있다 は所在を示す構文です。
다른 점이에요 (点) / 다른 데 있어요 (点にある)

-(으)ㄴ/는 데
接続語尾で背景を示します。形は似ていますが別物です。
좋은 데 (背景) / 좋은 데 있다 (点にある)

-기 때문이다
理由を示します。데 있다 は本質の所在です。
부족하기 때문이다 (理由) / 부족한 데 있다 (所在)

■ まちがえやすい点

- ✕ 하는데 있다
○ 하는 데 있다
데 は依存名詞なので分かち書きします。
- ✕ 목적은 줄이는 데 있어요 — 誤りではありません
○ (正しい形です)
抽象名詞を主語に取ります。
- ✕ 친구야, 문제는 거기 있는 데 있어.
○ 친구야, 문제는 그거야.
日常会話では使いません。